

## 検定試験当日における各種注意事項等について

Ver.1.0

2024年8月19日  
特別民間法人高圧ガス保安協会  
試験・教育事業部門

検定試験当日の注意事項等については下記のとおりです。当日までに必ずお読みいただき、各注意事項等の遵守をお願いいたします。また、検定試験会場にて、当日試験監督者から、別途、他の指示・指摘等があった場合は、必ずそれに従ってください。

### 記

- ① 検定試験開始前に注意事項等を説明しますので、特段の指示がない限り、**試験開始 20分前までに試験会場に入室**してください。
- ② 検定試験の開始から30分が経過するまで退室はできません（一部の検定試験では、退室できる時間が異なっております。講習実施事務所にご確認ください。）
- ③ 検定試験の開始から30分を経過<sup>※1※2</sup>すると入室できません。  
※1：公共交通機関の遅れ等であっても、検定試験の開始後30分を経過した場合は、受検できません。  
※2：30分以内の遅刻であれば受検できます。

（上述の①から③までに掲げる事項は、全国で実施する全ての検定試験会場において共通ルールとなっています。）

- ④ 検定試験会場の案内に「駐車場あり」との記載がない場合は、自動車、バイク、スクーターでの来場はできません。また、路上駐車や、近隣のスーパーマーケット、ファミリーレストラン、コンビニ、病院等に駐車することは大変迷惑になるので絶対にしないようにしてください。
- ⑤ 検定試験会場内は禁煙です。また、検定試験時間外の飲食については、同試験を実施する事務局（以下単に「事務局」という。）に確認してください。
- ⑥ 地震が発生した場合は、身の安全を確保し事務局の指示に従ってください。

- ⑦ 机上には、講習受講証明書又は受検票<sup>※1</sup>、筆記用具、時計及び電卓以外のものは置かないでください。ペットボトル等の飲み物はカバンや袋などの中に入れてください。腕時計を付けている方は、腕から外して机上においてください。
- ※1：写真が貼付された面を上にして、机上に置いてください。
- ⑧ PC、音楽プレーヤー、電子辞書、ゲーム機等の電子機器類や、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の通信機器類は、電源を切り、かばんや袋などの中に入れてください。机の中に入れても、身につけたままにしたりすることが絶対にないようにしてください。電子機器類や通信機器類をかばん等に収納せず、それらを検定試験の受検中に身に付けている状態又は使用可能な場所に所持していることが確認された場合は、電源のON（マナーモードを含む。）/OFFにかかわらず直ちに不正行為と見なし、当該検定試験は失格（無効）として取り扱います。なお、この場合において、受講料の返還は行いません。
- ⑨ 電卓は、四則演算のみができるものの使用を認めますが、関数電卓の使用は禁止します。（詳しくは、講習テキスト又は問題集の巻末に掲載されている「高圧ガス関連資格の検定試験及び修了試験での電卓の使用について」を参照ください。）
- ⑩ 解答方法は、記述方式とマークシート方式の二種類があります。
- ⑪ 記述方式の解答用紙には、各ページに受検番号及び氏名を記入する欄がありますので、必ず記入してください。解答は必ず日本語で記述してください。
- ⑫ マークシート方式の解答用紙は、講習テキスト又は問題集の巻末に掲載されている「記入例」のとおりマーク（塗りつぶす）してください。
- ⑬ マークシート方式の解答用紙に記入・マークする場合は、必ず鉛筆又はシャープペンシルで行ってください。万一、ボールペンや万年筆などのインクによりマークした場合、読み取れないため採点されず、不合格となることがありますので十分に注意してください。
- ⑭ 解答用紙は白紙でも必ず提出してください。
- ⑮ 記載内容確認票は、当日、事務局が配付する用紙に訂正が必要な箇所のみを対象に訂正内容を記載し、事務局に提出してください。訂正のないものは、お持ち帰りください。
- ⑯ 問題用紙は、検定試験の開始後、落丁・乱丁等がないかをよく確認してください。落丁・乱丁等があった場合は、検定試験の受検中に速やかに申し出てください。
- ⑰ 問題用紙は、検定試験の途中又は終了後にかかわらず、全ての受検者を対象として解答用紙の提出時に併せて回収します。途中退室せずに検定試験時間が終了するまで受検されていた方も同様に問題用紙は回収します。なお、回収された問題用紙は返却しません。また、未使用の問題用紙も提供しません。
- ⑱ 検定試験の問題に関する質問は、お答えできません。文意どおり解釈してください。

以上